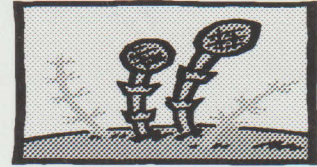


# 土浦平和の会

ニュース NO・2ワ ? qq 6年3月

発行 土浦平和の会  
事務局 土浦市神立町2 6 6 4-2  
TEL 3 1-91 2 2



## 困いの中は、うなっているの ?

私たちの住んでいるところから最も近いところにある、百里基地のようすくらいは知っていなければ、常々思いながら、そこへ一度も行ったことがないことに、後ろめたさを感じておりました。

今回、2月11日に土浦平和の会のかたの車に同乗させてもらい、百里の初午祭りに初めて参加しました。平和を願う人たちのお祭り、参加した人たちの会話から平和という言葉が自然にでてくる。“けんちんそば”をいただきながら、なんて素敵な飾り気のないお祭りなんだろう。みんなが仲間の初めてここで会いしたのに親しみを感じました。

百里基地に戦闘機がきてから三十年になるそうです。こんなに長い間、百里基地周辺に住む人たちは、金属音と危険、そして、何よりもまして戦争につながる兵器との隣り合わせに住むという精神的な不快適さに苦しみ続けておられるわけです。この百里基地で戦闘機や偵察機が増強され戦争の準備が着々と進められていると聞いて驚き、信じられない思いです。武器による国家間の問題解決を私たちは望みません。それらの武器の目的は、家を破壊し、燃やし、人々を殺戮することです。兵器はどのような主義主張の人が所有しても殺人の道具であることに変わりありません。

旧射撃場山から基地を一望してびっくりしました。基地の広さ、大きないくつもの格納庫や管制塔が並び、“ぐ”の字に曲がった誘導路。その中にある平和公園。日曜日で基地は静かでした。“近いうちにまたここへ来ましよう”そして、訓練の現状をしっかりと見学しよう。”とポッポの会で決めました。

昨年は日本のポツダム宣言受諾 / 降伏した1945年から50年目。兵士ばかりでなく、たくさんの一般市民の犠牲者を出したあの戦争の原因 / 意味と、これからの将来のために、そこから何を学ばなければならないかを、さらにこれからも考えていくのが私たちの避けることのできない責任です。これからも真の平和を希求し、百里基地撤去を目指す人々とともに運動に参加していきたいです。もっともっと多くの人たちに平和について考えてほしいです。

いばらきコープ ポッポの会 合田 さだ

“沖縄の心と連帯する集い”に参加しよう

“沖縄のたたかいを全国に”を合い言葉に、全国の仲間も沖縄の闘いに連帯し、支援する運動を進めています。茨城でも運動の第1歩として、沖縄の反戦地主池原秀明さんの“沖縄の現地報告”を聞くことになりました。誘い合わせてご参加くださいますようお願い申し上げます。

主とと講講  
催きこ  
る演師

3月24日(日)

水戸市民会館大会議室

沖縄からの報告 参加費無料

池原秀明 氏(沖縄反戦地主会事務局長)

沖縄の心と連帯する集い実行委員会

呼びかけ人 丹 正平(いばらきコープ)

後藤千秋(城南病院長)

長谷川京子(はなのわ保育園理事長)

